

エイズ先端医療研究部（エイズ先端医療開発室）

エイズ先端医療研究部長 白阪琢磨

エイズ先端医療研究部はエイズ先端医療開発室と HIV 感染制御室から構成されている。

海外同様、わが国、特に大阪で HIV 感染症患者の報告数は増加の一途である。HIV 感染症に対する抗 HIV 療法の進歩によって HIV 感染症の予後は大きく改善し、HIV 感染症は医学的管理のできる慢性疾患と捉えられるまでになったが、治癒は未だにない。さて、当院は薬害 HIV 裁判の和解に基づく恒久対策の一環として、平成 9 年にエイズ診療における近畿ブロックのブロック拠点病院に選定された。当院には診療（全科体制）、臨床研究、教育・研修、情報発信の 4 つの機能が期待されている。当院の HIV/AIDS 先端医療開発センターが中心となって関連部署と緊密な連携を取りながら任務を遂行しているが、診療は感染症内科が担い、その他は当エイズ先端医療研究部が担っている。臨床研究では後述のように厚生労働科学研究費補助金による研究（平成 23 年度は白阪が「HIV 感染症および合併症の課題を克服する研究」の研究代表者、上平（感染症内科科長）が「HIV 感染症の医療体制に関する研究」の研究分担者、渡邊（HIV 感染制御室室長）が「標準的治療法の確立を目指した急性 HIV 感染症の病態解析」の研究代表者）などを実施し、多くの成果を上げ、その研究成果の一部は学会あるいは論文としても発表した。臨床研究の主なテーマはベッドサイドからの病態解析や治療に関する研究と患者中心の医療の提供に関する研究である。前者は渡邊大が HIV 感染制御室で実施し、後者をエイズ先端医療開発室で実施している。HIV 感染症の治療の中心である抗 HIV 療法は服薬が基本である。免疫能を回復させ、健康を維持し続けるためには、その服薬率（服薬アドヒアランス）は 95% 以上である事が求められる。感染者の多くは若者であるが、社会経済的、心理学的、精神的な困難を有する例も多く、医師、看護師のみならず、薬剤師、臨床心理士、ソーシャル・ワーカーなどから成るチームでの医療の提供が必要であり、研究を進めている。また、HIV 感染症患者の様々な病態に対応するには医療施設間での診療連携や福祉施設との相互の連携も必要であり長期療養についても研究を継続している。血液製剤による感染者の多くは C 型肝炎にも重複感染している。HIV 感染症での死亡例が減少した一方で、最近では C 型慢性肝炎での死亡例が増えており、その対策が急がれる。当エイズ先端医療研究部も研究分担（兼松班、山下班）として対策に取り組んでいる。教育・研修では院内向け院外向け共に院内での研修については、看護部、医療相談室、臨床心理室等と共に職員研究部と協働で実施し、多くの参加者を得ている。厚生労働科研補助金エイズ対策研究事業の研究では訪問看護研修などを全国で実施している。情報発信については当院のホームページ内に HIV/AIDS 先端医療開発センターの頁を（<http://www.onh.go.jp/khac/>）設け、厚労科研の成果の一部や HIV 感染症/AIDS に関する情報を発信しており、アクセス数は 1999 年に開設以来 40 万件を超え、多く方の利用を得ている。当部は今後も HIV/AIDS 先端医療開発センターの研究部門として HIV 感染症/AIDS に関する臨床研究、教育・研修、情報発信を進めていきたい。

【2011 年度研究発表業績】

A-0

Fujisaki S, Yokomaku Y, Shiino T, Koibuchi T, Hattori J, Ibe S, Iwatani Y, Iwamoto A, Shirasaka T,

Hamaguchi M, Sugiura W. Outbreak of Infections by Hepatitis B Virus Genotype A and Transmission of Genetic Drug Resistance in Patients Coinfected with HIV-1 in Japan. *Journal of Clinical Microbiology* 2011; 49(3):1017-1024 (2011 年 4 月)

Watanabe D, Taniguchi T, Otani N, Tominari S, Nishida Y, Uehira T, Shirasaka T. Immune reconstitution to parvovirus B19 and resolution of anemia in a patient treated with highly active antiretroviral therapy. *Journal of Infection and Chemotherapy* 2011; 17(2):283-287 (2011 年 4 月)

Watanabe D, Ibe S, Uehira T, Minami R, Sasakawa A, Yajima K, Yonemoto H, Bando H, Ogawa Y, Taniguchi T, Kasai D, Nishida Y, Yamamoto M, Kaneda T, Shirasaka T. Cellular HIV-1 DNA levels in patients receiving antiretroviral therapy strongly correlate with therapy initiation timing but not with therapy duration. *BMC Infectious Diseases* 2011; 11:146 (2011 年 5 月)

Shirasaka T, Tadokoro T, Yamamoto Y, Fukutake K, Kato Y, Odawara T, Nakamura T, Ajisawa A, Negishi M. Investigation of emtricitabine-associated skin pigmentation and safety in HIV-1-infected Japanese patients. *Journal of Infection and Chemotherapy* 2011;17:602-608 (2011 年 10 月)

Yoshino M, Yagura H, Kushida H, Yonemoto H, Bando H, Ogawa Y, Yajima K, Kasai D, Taniguchi D, Watanabe D, Nishida Y, Kuwahara T, Uehira T, Shirasaka T. Assessing recovery of renal function after tenofovir disoproxil fumarate discontinuation. *Journal of Infection and Chemotherapy* 2011 (2011 年 10 月)

Watanabe D, Yoshino M, Yagura H, Hirota K, Yonemoto H, Bando H, Yajima K, Koizumi Y, Otera H, Tominari S, Nishida Y, Kuwahara T, Uehira T, and Shirasaka T. Increase in serum mitochondrial creatine kinase levels induced by tenofovir administration. *Journal of Infection and Chemotherapy* (2012 年 2 月)

Watanabe D, Koizumi Y, Yajima K, Uehira T, Shirasaka T. Diagnosis and treatment of AIDS-related primary central nervous lymphoma. *Journal of Blood Disorders and Transfusion* (2012 年 3 月)

A-2

仲倉高広 : チーム医療「心理臨床事典」日本心理臨床学会編、丸善出版、2011 年 7 月

A-3

吉野宗宏 : 後天性免疫不全症候群「薬局 2011 年増刊号 病気と薬パーフェクトブック 2011」: P877-888、2011 年 4 月

白阪琢磨 : DHHS ガイドライン 2011 Up-Date「HIV 感染症と AIDS の治療」2(1):P14-17、株式会社メディカルレビュー社、2011 年 5 月

白阪琢磨 : 免疫不全状態に関連する感染性大腸炎の鑑別診断「臨牀消化器内科 6 月増刊号」26(7):P97-106、株式会社日本メディカルセンター、2011 年 5 月

今村顕史、上平朝子、加藤雪彦、堀場昌英、山中晃：いまさら聞けない HIV 感染症～患者は突然やってくる～最終回 座談会 HIV 感染者の早期発見!!見落とさないコツ「医薬の門」51(3):P224-231、2011年7月

吉野宗宏:HIV 感染症患者に対する薬剤師の役割「大阪府病院薬剤師会雑誌」平成23年7月号 P12-15、2011年7月

富成伸次郎、島本裕子、谷口美由紀、谷口智弘、白阪琢磨：ノロウイルスを3ヶ月以上持続して便より検出した HIV 感染者の2症例「日本環境感染学会誌」26(4):P249-252、2011年10月

白阪琢磨：最新の DHHS ガイドライン「HIV 感染症と AIDS の治療」2(2):P18-21、株式会社メディカルレビュー社、2011年11月

大寺博、上平朝子：Q&A 形式 Case Study HIV 合併肺癌について「HIV 感染症と AIDS の治療」2(2):P14-17、株式会社メディカルレビュー社、2011年11月

富成伸次郎：Q&A 形式 Case Study HIV 感染症と脂質異常症「HIV 感染症と AIDS の治療」2(2):P14-17、株式会社メディカルレビュー社、2011年11月

上平朝子：HIV 患者における腎機能障害の問題「大阪透析研究会会誌」29(2):P215-225、2011年12月

小泉祐介、藤山佳秀：下痢症へのアプローチ 免疫不全症や移植後の下痢症「medicina」49(2)：P2-5、株式会社医学書院、2012年2月

A-4

西田恭治：血友病レポート 25 「ECHO」(73)：P9-10、バイエル薬品株式会社発行、2011年7月

仲倉高広：臨床心理室の紹介「ECHO」(73)：P4、バイエル薬品株式会社発行、2011年7月

西田恭治：血友病・VWF 病と妊娠「産科と婦人科」80 巻1号、(株)診断と治療社、2012年3月

A-5

白阪琢磨：日本人の腎機能に及ぼす影響「第25回日本エイズ学会学術集会・総会 ランチョンセミナー記録集『Tenofovir を含む長期抗 HIV 療法と腎臓及び骨～海外の報告、日本人における検証と今後の課題～』」、鳥居薬品株式会社、2012年3月

A-6

白阪琢磨：Integrase 領域の変異の出現を認めた Raltegravir による治療失敗の2例「第24回日本エイズ学会学術集会・総会記録集」：エルゼビア・ジャパン株式会社、2011年5月

白阪琢磨：抗 HIV 用薬「治療薬ハンドブック 2012」、株式会社じほう、2012 年 1 月

白阪琢磨：HIV 感染で休職強要「朝日新聞夕刊」、2012 年 1 月 13 日号：P9、朝日新聞社、2012 年 1 月

B-2

Tominari S. Factors Associated with Loss to Follow-Up among HIV-Infected Patients in Japan: a Nested Case-Control Study. The 10th International Congress on AIDS in Asia and the Pacific, Busan ,Republic of Korea, 2011 年 8 月

Nakakura T. Neuropsychological Impairments in Patients Infected with HIV in Japan. The 10th International Congress on AIDS in Asia and the Pacific, Busan, Republic of Korea, 2011 年 8 月

Yoshino M, Yagura H, Kushida H, Yonemoto H, Bando H, Ogawa Y, Yajima K, Kasai D, Taniguchi T, Watanabe D, Nishida Y, Kuwahara T, Uehira T, Shirasaka T. Evaluating recovery of renal function after tenofovir disoproxil fumarate discontinuation in HIV-infected Japanese patients. The 10th International Congress on AIDS in Asia and the Pacific (ICAAP2011), Busan, 2011 年 8 月

Nakakura T, Yasuo T, Otani Y, Shimoji Y, Shirasaka T : Neuropsychological impairments in patients infected with HIV in Japan. The 10th International Congress on AIDS in Asia and the Pacific, Busan, Korea,2011 年 8 月

Yasuo T, Nakakura T, Otani A, Morita M, Fujimoto E, Kuratani T, Miyamoto T, Shimoji Y, Hirotsune H, Shirasaka T. Mental Health and Substance Abuse of HIV Infected Patients in an Outpatient Clinic in Japan. The 10th International Congress on AIDS in Asia and the Pacific, Busan, Korea,2011 年 8 月

B-3

吉野宗宏：HIV 感染症診療におけるチーム医療のあり方を探る-薬剤師の立場から-、第 21 回日本医療薬学会 シンポジウム、神戸、2011 年 10 月

白阪琢磨：日本人の肝機能に及ぼす影響。第 25 回日本エイズ学会学術集会・総会ランチョンセミナー「Tenofovir を含む長期抗 HIV 療法と腎臓及び骨～海外の報告、日本人における検証と今後の課題～」、東京、2011 年 11 月

白阪琢磨：HPTN052 の意義。第 25 回日本エイズ学会学術集会・総会イブニングセミナー「HIV 感染症『治療の手引き』第 15 版」、東京、2011 年 11 月

白阪琢磨：キードラッグの選択をどのようにすべきか～治療経験の多い施設の現状と各キードラッグの特徴～。第 25 回日本エイズ学会学術集会・総会、東京、2011 年 12 月

白阪琢磨：医療の立場から。第 25 回日本エイズ学会学術集会・総会共催シンポジウム「今の医療に新たに求められているもの第2回～自業自得・バチを巡って、スピリチュアル・ケアを考える～」、東京、2011 年 12 月

上平朝子：長期治療のマネジメントを考えた ARV の選択～臨床医の経験に学ぶ～。第 25 回日本エイズ学会学術集会・総会ランチョンセミナー、東京、2011 年 12 月

B-4

大谷ありさ：初診時から 1 年後の HIV 感染症患者のメンタルヘルス。第 30 回日本心理臨床学会、福岡、2011 年 9 月

藤本恵里：女子大学生における摂食障害傾向とアレキシサイミアとの関連。第 30 回日本心理臨床学会秋季大会、福岡、2011 年 9 月

倉谷昂志：自己イメージと遺伝イメージの関係性から捉えた青年期のアイデンティティの一考察（I）—多次元自我同一性尺度と描画法を用いて—。日本心理臨床学会第 30 回・秋季大会、福岡、2011 年 9 月

宮本哲雄：心の整理法による気分変化とその意義について —心の整理法ワーク 11「気持ちにケリをつける」に焦点を当てて—。日本心理臨床学会第 30 回秋季大会、福岡、2011 年 9 月

西田恭治：HBV、HCV を合併する HIV 治療の現状。第 3 回東海 HIV/AIDS 治療研究会、名古屋、2011 年 9 月

西田恭治：日本におけるベネフィクスの使用経験～ベネフィクス国内使用成績調査より～。第 73 回日本血友病学会学術集会コーポレートセミナー、名古屋、2011 年 10 月

井上洋士、村上未知子、有馬美奈、大野稔子、岡野江美、豊島裕子、岡本学、安尾利彦、白阪琢磨：「HIV 陽性者のセクシュアルヘルス支援のための研修会」の 5 年間の経緯—参加者によるプログラム評価の比較分析を主軸として。第 25 回日本エイズ学会学術集会・総会、東京、2011 年 11 月

服部純子、椎野禎一郎、瀧永博之、林田庸総、吉田繁、千葉仁志、小池隆夫、佐々木悟、伊藤俊広、内田和江、原孝、佐藤武幸、上田敦久、石ヶ坪良明、近藤真規子、長島真美、貞升健志、古賀一郎、太田康男、山元泰之、福武勝幸、加藤真吾、藤井毅、岩本愛吉、西澤雅子、岡慎一、伊部史朗、横幕能行、上田幹夫、大家正義、田邊嘉也、渡辺香奈子、渡邊大、白阪琢磨、小島洋子、森治代、中桐逸博、藤井輝久、高田昇、木村昭郎、南留美、山本政弘、松下修三、藤田次郎、健山正男、杉浦互：新規 HIV/AIDS 診断症例における薬剤耐性 HIV の動向。第 25 回日本エイズ学会学術集会・総会、東京、2011 年 11 月

B-4

四本美保子、味澤篤、萩原将太郎、田沼順子、上平朝子、永井宏和、藤川裕子、北野喜良、有馬靖佳、宇野健司、岩井俊樹、本郷偉元、岡田誠治：本邦におけるエイズ関連ホジキンリンパ腫 19 例の実態。第 25 回日本エイズ学会学術集会・総会、東京、2011 年 11 月

小泉祐介、廣田和之、米本仁史、坂東裕基、大寺博、矢嶋敬史郎、富成伸次郎、渡邊大、西田恭治、上平朝子、白阪琢磨：当院における非エイズ指標悪性腫瘍の臨床的検討。第 25 回日本エイズ学会学術集会・総会、東京、2011 年 11 月

渡邊大、吉野宗宏、矢倉裕輝、廣田和之、米本仁史、坂東裕基、矢嶋敬史郎、小泉祐介、大寺博、富成伸次郎、西田恭治、栗原健、上平朝子、白阪琢磨：Tenofovir の投与による血中ミトコンドリア CK 活性の上昇に関する研究。第 25 回日本エイズ学会学術集会・総会、東京、2011 年 11 月

仲倉高広、宮本哲雄、小西加保留、山中京子、松岡千代、白阪琢磨：HIV 医療における施設ごとのチーム医療の状況を把握する試み。第 25 回日本エイズ学会学術集会・総会、東京、2011 年 11 月

藤原良次、早坂典生、橋本謙、山縣真矢、間島孝子、太田裕治、坂本裕敬、羽島潤、白阪琢磨：ケースマネージメントスキルを使った行動変容支援サービスに関する研究。第 25 回日本エイズ学会学術集会・総会、東京、2011 年 11 月

小西加保留、石川雅子、関谷早苗、山田由紀、武田謙治、小澤あかね、井上洋士、白阪琢磨：退院援助困難事例のための支援シートに関する研究。第 25 回日本エイズ学会学術集会・総会、東京、2011 年 11 月

今井敏幸、東政美、治川知子、下司有加、上平朝子、白阪琢磨：セックスおよび物質依存に関する相談体制の向上に関する研究。第 25 回日本エイズ学会学術集会・総会、東京、2011 年 11 月

東政美、今井敏幸、治川知子、下司有加、宮本ひとみ、白阪琢磨：生活習慣病の既往のある HIV 患者の看護支援の現状と課題。第 25 回日本エイズ学会学術集会・総会、東京、2011 年 11 月

坂東裕基、廣田和之、米本仁史、矢嶋敬史郎、小泉祐介、大寺博、富成伸次郎、渡邊大、西田恭治、上平朝子、白阪琢磨：メフロキン投与を行った進行性多巣性白質脳症 3 症例の検討。第 25 回日本エイズ学会学術集会・総会、東京、2011 年 11 月

小泉祐介、南口仁志、木藤克之、程原佳子、藤山佳秀：原発性副腎機能低下症と筋原発悪性リンパ腫を合併した AIDS の一例。第 25 回日本エイズ学会学術集会・総会、東京、2011 年 11 月

白阪琢磨、日笠聡、岡慎一、川戸美由紀、橋本修二、吉崎和幸、福武勝幸：血液製剤による HIV 感染者の調査成績 第 1 報 CD4 値、HIV-RNA 量と治療の現状と推移。第 25 回日本エイズ学会学術集会・総会、東京、2011 年 11 月

上平朝子、吉野宗宏、渡邊大、櫛田宏幸、矢倉裕輝、廣田和之、米本仁史、坂東裕基、矢嶋敬史郎、小泉祐介、大寺博、富成伸次郎、西田恭治、白阪琢磨：当院の NRTI-sparing レジメンの使用経験。第 25 回日本エイズ学会学術集会・総会、東京、2011 年 11 月

川戸美由紀、橋本修二、岡慎一、吉崎和幸、福武勝幸、日笠聡、白阪琢磨：血液製剤による HIV 感染者の調査成績 第 2 報 1997 年度対象者の 13 年間の観察。第 25 回日本エイズ学会学術集会・総会、東京、2011 年 11 月

熊谷祐子、佐保美奈子、古山美穂、工藤里香、豊田百合子、畑井由美子、泉柚岐、下司有加、白阪琢磨、飯沼恵子、澤口智登里、王美麗、繁内幸治、須見彰：アクティビティを取り入れた HIV 研修プログラムの検討。第 25 回日本エイズ学会学術集会・総会、東京、2011 年 11 月

倉谷昂志、廣常秀人、安尾利彦、大谷ありさ、仲倉高広、森田眞子、藤本恵里、宮本哲雄、西川歩美、上平朝子、白阪琢磨：精神科医を対象とした研修会受講後の HIV 感染症患者への理解・認識の変化について。第 25 回日本エイズ学会学術集会・総会、東京、2011 年 11 月

森田眞子：HIV 感染症症例への当院緩和ケアチームの介入について～チームスタッフの介入前後の姿勢の変化について。第 25 回日本エイズ学会学術集会・総会、東京、2011 年 11 月

牧野麻由子、古谷野淳子、加藤朋子、塚本琢也、北志保里、松岡亜由子、仲倉高広、森田眞子、安尾利彦、大谷ありさ、藤本恵里、倉谷昂志、宮本哲雄、喜花伸子、辻麻理子、高橋佳子、飯田敏晴、山中京子：HIV カウンセリングの実践内容の明確化の試み。第 25 回日本エイズ学会学術集会・総会、東京、2011 年 11 月

吉野宗宏、矢倉裕輝、櫛田宏幸、米本仁史、廣田和之、坂東裕基、矢嶋敬史郎、小泉祐介、大寺博、富成伸次郎、渡邊大、栗原健、西田恭治、上平朝子、白阪琢磨：1 日 1 回投与 darunavir/ritonavir の使用成績。第 25 回日本エイズ学会学術集会・総会、東京、2011 年 12 月

櫛田宏幸、吉野宗宏、矢倉裕輝、米本仁史、廣田和之、坂東裕基、矢嶋敬史郎、小泉祐介、大寺博、富成伸次郎、渡邊大、西田恭治、上平朝子、白阪琢磨：当院における Atazanavir の長期投与成績。第 25 回日本エイズ学会学術集会・総会、東京、2011 年 12 月

小河原光正、木村剛、安藤性實、宮本智、上平朝子、白阪琢磨：結核病床を有しないエイズ治療ブロック拠点病院におけるクオンティフェロン TB-2G(QFT)測定結果の検討。第 25 回日本エイズ学会学術集会・総会、東京、2011 年 12 月

治川知子、今井敏幸、東政美、下司有加、宮本ひとみ、上平朝子、白阪琢磨：当院における初診時の問診内容より得られた HIV 陽性者の感染経路について。第 25 回日本エイズ学会学術集会・総会、東京、2011 年 12 月

富成伸次郎、安尾利彦、山中京子、白阪琢磨、中山健夫：HIV 感染症患者の受診中断予測因子およびカウンセリングとの関連についてのケース・コントロール研究。第 25 回日本エイズ学会学術集会・総会、東京、2011 年 12 月

宮本哲雄、仲倉高広、安尾利彦、森田眞子、大谷ありさ、藤本恵里、倉谷昂志、西川歩美、下司有加、治川知子、東政美、今井敏幸、廣常秀人、白阪琢磨：神経心理学的障害の自覚に関する研究。第 25 回日本エイズ学会学術集会・総会、東京、2011 年 12 月

仲倉高広、下司有加、織田幸子、岡本学、富成伸次郎、白阪琢磨：がんを併発した HIV 陽性患者の心理療法について。第 25 回日本エイズ学会学術集会・総会、東京、2011 年 12 月

安尾利彦、仲倉高広、森田眞子、大谷ありさ、藤本恵里、倉谷昂志、宮本哲雄、西川歩美、下司有加、治川知子、東政美、今井敏幸、廣常秀人、白阪琢磨：HIV 感染症患者の初診時におけるメンタルヘルス。第 25 回日本エイズ学会学術集会・総会、東京、2011 年 12 月

大谷ありさ、仲倉高広、安尾利彦、森田眞子、藤本恵里、倉谷昂志、宮本哲雄、西川歩美、下司有加、治川知子、東政美、今井敏幸、白阪琢磨、廣常秀人：初診時から 1 年後の HIV 感染症者のメンタルヘルス。第 25 回日本エイズ学会学術集会・総会、東京、2011 年 12 月

栞原健、矢倉裕輝、吉野宗宏、上平朝子、白阪琢磨、杉浦互：エトラビリン、ダルナビル、ラルテグラビルの血中トラフ値と海外データとの比較。第 25 回日本エイズ学会学術集会・総会、東京、2011 年 12 月

渡邊大、上平朝子、白阪琢磨、味澤篤、今村顕史、菅沼明彦、濱口元洋、横幕能行、南留美、高濱宗一郎、白野倫徳、後藤哲志：急性 HIV 感染症における他のウイルス感染症との関連性の検討。第 25 回日本エイズ学会学術集会・総会、東京、2011 年 12 月

矢倉裕輝、吉野宗宏、櫛田宏幸、上平朝子、白阪琢磨、栞原健：抗 HIV 薬の簡易懸濁法適用に関する検討。第 25 回日本エイズ学会学術集会・総会、東京、2011 年 12 月

矢嶋敬史郎、上平朝子、湯口清徳、廣田和之、米本仁史、坂東裕基、小泉祐介、大寺博、富成伸次郎、渡邊大、葛下典由、西田恭治、三田英治、白阪琢磨：抗 HIV 薬による非硬化性門脈圧亢進症(NCPH)の 1 例。第 25 回日本エイズ学会学術集会・総会、東京、2011 年 12 月

矢倉裕輝、吉野宗宏、櫛田宏幸、米本仁史、廣田和之、坂東裕基、矢嶋敬史郎、小泉祐介、大寺博、富成伸次郎、渡邊大、西田恭治、上平朝子、白阪琢磨、栞原健：Ritonavir の剤形変更に伴う薬物動態の比較検討および自覚症状の変化に関する調査。第 25 回日本エイズ学会学術集会・総会、東京、2011 年 12 月

菊池嘉、遠藤知之、宮城島拓人、伊藤俊広、中村仁美、田邊嘉也、上田幹夫、横幕能行、渡邊大、

藤井輝久、南留美、健山正男：多施設共同疫学調査における HAART の有効率 2010。第 25 回日本エイズ学会学術集会・総会、東京、2011 年 12 月

日笠聡、栞原健、小島賢一、白阪琢磨：抗 HIV 療法と服薬援助のための基礎的調査—治療開始時の抗 HIV 薬処方動向調査(2011 年)—。第 25 回日本エイズ学会学術集会・総会、東京、2011 年 12 月

小島賢一、栞原健、日笠聡、白阪琢磨：抗 HIV 療法と服薬援助のための基礎的調査—抗 HIV 薬の薬剤変更状況調査(2011 年)—。第 25 回日本エイズ学会学術集会・総会、東京、2011 年 12 月

栞原健、小島賢一、日笠聡、白阪琢磨：拠点病院における抗 HIV 療法と薬剤関連アンケート調査結果(2011)。第 25 回日本エイズ学会学術集会・総会、東京、2011 年 12 月

須藤弘二、吉野宗宏、栞原健、白阪琢磨、加藤真吾：LC-MS/MS を用いた毛髪中および血液中の抗 HIV 薬の定量。第 25 回日本エイズ学会学術集会・総会、東京、2011 年 12 月

仲倉高広、下司有加、織田幸子、岡本学、富成伸次郎、白阪琢磨：がんを併発した HIV 陽性患者の心理療法について。第 25 回日本エイズ学会学術集会・総会、東京、2011 年 12 月

仲倉高広、下司有加、織田幸子、岡本学、富成伸次郎、白阪琢磨：がんを併発した HIV 陽性患者の心理療法について。第 25 回日本エイズ学会学術集会・総会、東京、2011 年 12 月

藤本恵里、大谷ありさ、仲倉高広、森田眞子、安尾利彦、倉谷昂志、宮本哲雄、西川歩美：HIV 医療における心理士の院内連携の形態とその特徴。第 25 回日本エイズ学会学術集会・総会、東京、2011 年 12 月

西田恭治：定期補充療法の考え方について。血友病研究会、大阪、2012 年 1 月

吉野宗宏、矢倉裕輝、櫛田宏幸、槇原克也、河合 実、土井敏行、早川直樹、上野裕之、関本裕美、山内一恭、本田芳久、小森勝也、白阪琢磨、薬剤師外来の取り組み-HIV チーム医療における薬剤師の役割-、日本薬学会第 132 年会、札幌、2012 年 3 月

B-5

西田恭治：全国ヘモフィリアフォーラム 2011 分科報告会。全国ヘモフィリアフォーラム 2011、大阪、2011 年 4 月

吉野宗宏：当院における抗 HIV 薬服薬指導の実際。第 1 回九州抗 HIV 薬勉強会、福岡、2011 年 4 月

吉野宗宏：HIV 感染症治療における薬剤師の役割。東海ブロック AIDS/HIV 薬剤師研修会、名古屋、2011 年 5 月

吉野宗宏：HIV 感染症治療における薬剤師の役割。第 10 回埼玉 HIV 感染症研究会、埼玉、2011 年 6 月

吉野宗宏：抗 HIV 薬の服薬指導-院外薬局との連携を含めて。第 2 回九州抗 HIV 薬勉強会、福岡、2011 年 6 月

吉野宗宏：HIV 感染症治療における保険薬局の関わり方—患者アンケートから見えてくるもの—。第 99 回中央区医薬品情報研修会、大阪、2011 年 6 月

吉野宗宏：HIV 感染症治療における薬剤師の役割。北陸 HIV 臨床談話会、福井、2011 年 7 月

吉野宗宏：HIV 感染症治療における保険薬局の関わり方—患者アンケートから見えてくるもの—。第 4 回保険薬局 HIV ミーティング、大阪、2011 年 9 月

吉野宗宏：HIV 感染症の現状。第 13 回 POP ミーティング（患者会主催）、大阪、2011 年 10 月

吉野宗宏：長期 HAART の現状と課題。NPO 法人ネットワーク医療と人権、福井、2011 年 11 月

上平朝子：シンポジウム 1・HIV 診療の現状と課題—若手医師の悩み—。第 54 回日本感染症学会中日本地方会学術集会、第 59 回日本化学療法学会西日本支部総会、大阪、2011 年 11 月

吉野宗宏：薬剤師の役割と服薬指導。第 4 回九州抗 HIV 薬勉強会、福岡、2012 年 2 月

吉野宗宏：抗 HIV 療法-最近の動向。第 4 回大阪抗 HIV 薬勉強会、大阪、2012 年 2 月

吉野宗宏：HIV 感染症における薬剤師の役割。第 5 回大阪感染制御薬剤師研究会、大阪、2012 年 3 月

白阪琢磨：第 13 回福井性感染症研究会。HIV 感染症の診断と診療についての特別講演、福井、2012 年 3 月

白阪琢磨：HIV 診療の最前線。富田林感染症セミナー、富田林、2012 年 3 月

B-6

西田恭治：成人血友病の感染症について。第 9 回静岡県血友病治療ネットワーク、静岡 2011 年 10 月

西田恭治：HIV 医療の成果と社会的負債。第 10 回福岡 HIV 感染症治療研究会、福岡、2011 年 11 月

白阪琢磨：最新の HIV 感染症治療について。第 16 回横浜最新治療フォーラム、2012 年 2 月

白阪琢磨：HIV 診療の最前線ーエイズ・ブロック拠点病院からー。HIV 感染症に対する院内セミナー、大阪、2012 年 3 月

白阪琢磨：HIV 陽性者の治療の現状と在宅支援について。エイズ啓発講演会（尼崎市）、尼崎、2012 年 3 月

B-8

白阪琢磨：HIV 感染症診療の現状。高槻薬剤師会学術講演会、大阪、2011 年 4 月

白阪琢磨：HIV/AIDS 医療の現状と当院の役割。平成 23 年度新採用職員研修、大阪、2011 年 4 月

白阪琢磨：HIV 感染症・AIDS について。国立大学法人大阪大学医学部講義、大阪、2011 年 4 月

小泉祐介：感染症診療の基本的考え方と抗菌薬の使い方。滋賀医科大学医学部卒後臨床研修イブニングセミナー、滋賀、2011 年 4 月

仲倉高広：子育て。全国フィモフィリアフォーラム、大阪、2011 年 4 月

白阪琢磨：血液感染症の予防と対策。国立障害者リハビリテーションセンター 自立支援局神戸視力障害センター 教官研修会、兵庫、2011 年 5 月

上平朝子：高齢化する HIV 陽性者とエイズ患者の在宅生活の支援と医療との連携。北区居宅介護支援事業者連絡会・北区訪問介護事業者連絡会、大阪、2011 年 5 月

矢嶋敬史郎：過去から現在へ・・・治療の変遷について、日和見感染症（呼吸器感染症）。HIV 感染症研修会基礎編、愛知、2011 年 5 月

倉谷昂志：「職業としての心理学」。追手門学院大学心理学科総合科目 1、大阪、2011 年 5 月

西川歩美：コメンテーター。平成 23 年度遺族交流会、高松、2011 年 5 月

平島園子：服薬支援（医療ソーシャルワーカーの視点から）。認定薬剤師研修、大阪、2011 年 5 月

白阪琢磨：HIV について。第一東和会病院 職場研修会、大阪、2011 年 6 月

白阪琢磨：当院における HIV 診療の現状と課題～HIV 感染症を見落とさないために～。泉州地区臨床懇話会、大阪、2011 年 6 月

渡邊大：簡単に分かるエイズ診療。平成 23 年度四国地方エイズ拠点病院コミュニケーションスキル向上のための会議、徳島、2011 年 6 月

上平朝子：感染症コース「HIV 感染症」。関西医科大学・3 学年講義、大阪、2011 年 6 月

森田眞子：服薬支援～カウンセラーの視点から、および服薬支援ロールプレイ。HIV 感染症薬物療法薬剤師養成研修、大阪、2011 年 6 月

森田眞子：がんと共に生きる人への心理的援助～「これからのことを考えると頭がパンパンになってくる」という訴えにどう寄り添うか～」。パリアティブケア研究会第 4 回合同事例検討会、広島、2011 年 6 月

岡本学：服薬支援（医療ソーシャルワーカーの視点から）。認定薬剤師研修（公益財団法人日本薬剤師研修センター主催）、大阪、2011 年 6 月

白阪琢磨：HIV 感染症診療の進歩と近畿ブロックの現状。平成 23 年度新任中間監督者研修、大阪、2011 年 7 月

上平朝子：平成 23 年度第 1 回肝臓専門医育成プロジェクト、大阪、2011 年 7 月

矢嶋敬史郎：HIV/HCV 感染症治療の最前線。2011 年度患者担当相談員研修（MERS）、大阪、2011 年 7 月

小泉祐介：第 4 回近畿 HIV FRONTIER 研究会、大阪、2011 年 7 月

坂東裕基：HIV とは。健栄会三康病院 HIV 疾患とその周辺知識についての講演会、大阪、2011 年 7 月

西川歩美：コメンテーター。平成 23 年度遺族相談員研修会、大阪、2011 年 7 月

白阪琢磨：HIV 感染者の人権問題について。2011 年度人権総合相談員養成講座（大阪市）、大阪、2011 年 8 月

仲倉高広：スピリチュアルケア。関西学院大学大学院講義、兵庫、2011 年 8 月

森田眞子：「これからのことを考えると頭がパンパンになってくる」という遺伝性腫瘍をもつ方への心理的援助。京都町屋勉強会事例検討会、京都、2011 年 8 月

岡本学：HIV とソーシャルワーク。大阪市感染症対策にかかる保健師研修（応用編）、大阪、2011 年 8 月

矢嶋敬史郎：HIV と悪性腫瘍。HIV 看護スキルアップセミナー、北海道、2011 年 9 月

米本仁史：HIV 感染症の基礎知識。HIV 検査相談研修会、大阪、2011 年 9 月

安尾利彦：事例提供。大阪精神分析セミナー（大阪精神療法・心理療法研究会）、大阪、2011 年 9 月

安尾利彦：心理支援、カウンセリングとは。エイズ予防財団 HIV 検査相談研修会、大阪、2011 年 9 月

安尾利彦：職場のメンタルヘルス。人事院第 41 回近畿地区係長研修、大阪、2011 年 9 月

岡本学：HIV 陽性者が利用できる制度・サービス。エイズ予防財団 HIV 検査・相談研修、大阪、2011 年 9 月

岡本学：HIV 陽性者が利用できる制度・サービス。ジャンププラス「HIV 陽性者のための治療に関する勉強会」、大阪、2011 年 10 月

岡本学：HIV 陽性者が利用できる制度・サービス。エイズ文化フォーラム in 京都、京都、2011 年 10 月

白阪琢磨：HIV 感染症とは？。エイズ文化フォーラム in 京都、京都、2011 年 10 月

白阪琢磨：HIV 感染症の最新医療について。HIV 陽性者支援事業(池田保健所)平成 23 年度 HIV/AIDS 学習会、大阪、2011 年 10 月

白阪琢磨：「HIV/AIDS 講座」における HIV/AIDS の解説。平成 23 年度エイズ予防啓発イベント「レッドリボンシアター2011」、東京、2011 年 10 月

富成伸次郎：医学的な基礎知識と最新情報。HIV 陽性者のための治療に関する勉強会、大阪、2011 年 10 月

西川歩美：コメンテーター。平成 23 年度遺族交流会、富山、2011 年 10 月

白阪琢磨：エイズ教育（性教育）の進め方。平成 23 年度新規採用養護教諭研修（大阪府）、大阪、2011 年 11 月

矢嶋敬史郎：HIV 感染症に合併する悪性腫瘍について。第 4 回大阪緩和ケア連携カンファレンス、大阪、2011 年 11 月

仲倉高広：血友病小児の成長と自立を考える。東北ブロック医療等相談会、宮城、2011 年 11 月

仲倉高広：さまざまな依存をもつ HIV 陽性者のロールシャッハ・テスト。問題領域別カウンセリング支援の方法の事例検討会、大阪、2011 年 11 月

安尾利彦：HIV 陽性者の心理的支援。池田保健所 HIV/AIDS 学習会、大阪、2011 年 11 月

安尾利彦：薬物使用を行う HIV 陽性者への関わり～臨床心理士の立場から～。関西 HIV 臨床カンファレンス HIV 感染症と精神科領域の連携～薬物依存の問題～、大阪、2011 年 11 月

大谷ありさ：HIV 感染症と他の困難な状況を抱え持つ事例の心理療法の事例提供。問題領域別カウンセリング支援の方法の事例検討会、大阪、2011 年 11 月

岡本学：HIV 陽性者の生活支援。池田保健所 HIV/AIDS 学習会、大阪、2011 年 11 月

上平朝子：血液・体液で感染する感染症（医療について）。社会福祉法人白寿会 白寿苑の高齢者入所・通所施設の法人関係者向け講義、大阪、2011 年 12 月

小泉祐介：HIV/AIDS の基礎知識と滋賀県の現状。公立甲賀病院 結核への対応についての研修会、滋賀、2011 年 12 月

白阪琢磨：HIV 感染症・治療。大阪赤十字看護専門学校講義、大阪、2011 年 12 月

白阪琢磨：「生活支援論・地域Ⅱ」。平成 23 年度大阪府立大学看護部講義、大阪羽曳野市、2011 年 12 月

白阪琢磨：HIV 感染症/AIDS 治療の現状と課題。鳥取県 HIV 感染症診療研修会、鳥取、2011 年 12 月

仲倉高広：心が身体に及ぼす影響。遺族相談会、大阪 HIV 薬害訴訟原告団、京都、2011 年 12 月

安尾利彦、森田眞子、大谷ありさ、倉谷昂志、宮本哲雄、西川歩美：コメンテーター。平成 23 年度遺族交流会、京都、2011 年 12 月

仲倉高広：HIV 医療におけるカウンセリングを通して見えてくるもの。京都府立鴨沂高等学校、京都、2011 年 12 月

白阪琢磨：HIV に関する講演。長浜バイオ大学バイオサイエンス学部アニマルバイオサイエンス学科「感生生物学」講義。滋賀、2012 年 1 月

白阪琢磨：当院の HIV 診療の現状および最新の治療、HIV 感染症の抗 HIV 療法。平成 23 年度 HIV 感染症研修会（国立病院機構本部主催）、大阪、2012 年 1 月

上平朝子：女性と HIV。平成 23 年度 HIV 感染症研修会（国立病院機構本部主催）、大阪、2012 年 1 月

西田恭治：HIV と血友病。平成 23 年度 HIV 感染症研修会（国立病院機構本部主催）、大阪、2012 年 1 月

渡邊大：HIV 感染症の診断。平成 23 年度 HIV 感染症研修会（国立病院機構本部主催）、大阪、2012 年 1 月

富成伸次郎：針刺し暴露後対策。平成 23 年度 HIV 感染症研修会（国立病院機構本部主催）、大阪、2012 年 1 月

矢嶋敬史郎：日和見感染症。平成 23 年度 HIV 感染症研修会（国立病院機構本部主催）、大阪、2012 年 1 月

吉野宗宏：薬剤師の役割と服薬指導。平成 23 年度 HIV 感染症研修会（国立病院機構本部主催）、大阪、2012 年 1 月

安尾利彦：HIV とカウンセリング。平成 23 年度 HIV 感染症研修会（国立病院機構本部主催）、大阪、2012 年 1 月

下司有加：外来看護と療養支援。平成 23 年度 HIV 感染症研修会（国立病院機構本部主催）、大阪、2012 年 1 月

岡本学：HIV とソーシャルワーク。平成 23 年度 HIV 感染症研修会（国立病院機構本部主催）、大阪、2012 年 1 月

安尾利彦：HIV とカウンセリング。平成 23 年度 HIV 感染症研修会（国立病院機構本部主催）、大阪、2012 年 1 月

矢嶋敬史郎：特別セミナー講師。第 12 回北関東・甲信越 HIV 感染症症例検討会、群馬、2012 年 1 月

坂東裕基：HIV 感染症の基礎知識。3 大プログラム HIV/エイズ・B 型肝炎研修会（chot CAST なんば）、大阪、2012 年 1 月

米本仁史：HIV 感染症の基礎知識。3 大プログラム HIV/エイズ・B 型肝炎研修会（chot CAST なんば）、大阪、2012 年 1 月

西川歩美：コメンテーター。平成 23 年度遺族相談員研修会、大阪、2012 年 1 月

白阪琢磨：HIV 感染症治療の現状。京都医療センター附属京都看護助産学校講義、京都、2012 年 2 月

渡邊大：HIV 診療の基礎知識。香川県におけるエイズ診療向上のための会議（香川大学医学部附属病院主催）、香川、2012 年 2 月

矢嶋敬史郎：HIV 診療でのアディクションの実際。JANAC 第 17 回 HIV/AIDS 看護学会 総会・研究発表会、東京、2012 年 2 月

安尾利彦：陽性者のサポート。3 大プログラム HIV/エイズ・B 型肝炎研修会（chot CAST なんば）、大阪、2012 年 2 月

小泉祐介：HIV 感染症患者に合併した腸炎の実際。第 10 回北摂エリア腸疾患勉強会、大阪、2012 年 3 月

上平朝子：HIV 感染症診療早期化の流れ、最近のトピック。第 16 回エイズ診療ネットワーク in Nagasaki、長崎、2012 年 3 月

仲倉高広：臨床心理士って？～どんなサービスを受けられるの？。万葉友の会（ヘモフィリア）、奈良、2012 年 3 月

白阪琢磨：エイズ。サンデードクター、読売テレビ放送、大阪、2011 年 5 月

仲倉高広：臨床心理面接とクライアント論（第 25 回）、HIV 医療における心理療法。放送大学授業番組、千葉、2011 年 4 月